

保護者 各位

岡山県立岡山支援学校長
中村 誉

令和5年度学校評価保護者アンケートについて

10月に実施しました学校評価アンケートでは、全校の約83%の方から回答をいただきました。誠にありがとうございました。いただいたご意見を今後の児童生徒の教育活動や学校経営の参考とさせていただきます。

		A 十分あてはまる B あてはまる C あまりあてはまらない D あてはまらない E わからない (単位100%)									
		評 価 項 目					A	B	C	D	E
個々に応じた情報発信	1	学校は、上記学部の「目標・育てたい力」を意識して、指導・支援をしている。	67	31	0	0	2				
	2	学校は、お子様の実態やニーズを把握している。	63	36	0	0	1				
	3	学校は、個別の指導計画に沿って指導している。	64	34	0	0	2				
	4	学校は、ICT機器を効果的に活用し、学習活動をしている。	47	45	0	0	8				
	5	学校は、肢体不自由教育についての知識・技能に基づいて、指導している。	58	36	0	0	6				
	6	学校は、学年や学習グループなどの教職員全員でお子様のことを理解し、関わっている。	58	33	1	0	8				
自立と社会参加を	7	学校は、地域との交流を考えた教育活動(居住地校交流、学校間交流など)を行っている。	59	39	0	0	2				
	8	学校や寄宿舎は、家庭と連携しながら、生活習慣の確立や自立に向け適切な支援をしている。	49	42	3	0	6				
	9	学校は、卒業後の生活を見通して、日々の教育活動を行っている。	44	48	3	0	5				
学校全体の活性化	10	学校は、地域に対し、教育活動を広く発信している。	33	53	2	0	12				
	11	学校は、保護者に対し、お子様の学習の様子をわかりやすく発信している。	53	39	3	0	5				
	12	学校は、お子様・保護者のニーズを踏まえ、進路に関する情報を提供している。	42	39	6	2	11				
	13	学校は、教職員やホームページなどから、寄宿舎の情報発信を行っている。	42	47	0	0	11				
健康で安全な学校生活	14	学校は、お子様の健康状態を把握し、支援にあたっている。	59	39	0	0	2				
	15	学校は、安心・安全な学習環境を整えている。	58	39	2	0	1				
	16	学校は、地域・保護者と連携し、災害に備えた取り組みを行っている。	44	45	3	0	8				
	17	学校は、一人一人の人権を尊重した言葉遣いや支援に努めている。	67	30	0	1	2				
	18	学校は、お子様の困り感に気づき、教育相談等を通じていじめの対策に取り組んでいる。	42	39	2	0	17				
	19	学校は、必要な福祉・医療サービスを把握し、情報提供を行っている。	47	37	5	2	9				
働き方	20	学校は、働き方改革(学校電話の対応時間の案内や学校閉庁日の設定など)を推進している。	42	42	0	0	16				
【寄宿舎教育】											
		評 価 項 目					A	B	C	D	E
	21	寄宿舎は、心身の自立をめざし、健康指導や基本的な生活習慣の定着を図っている。	42	39	0	0	20				
	22	寄宿舎は、自治会活動を通して、主体的に他者と関わる力を育てている。	50	31	0	0	19				
	23	寄宿舎は、共同生活の中で、周囲と協調する態度や思いやる人間性を育てている。	50	33	0	0	17				
【コミュニティ・スクール】											
		評 価 項 目					A	B	C	D	E
	24	学校は、教育目標や方針を地域や保護者に発信し、理解に努めている。	54	43	4	0	0				
	25	学校は、地域の人材や資源を活かした教育活動を行っている。	48	42	0	0	10				
	26	学校は、学びの成果を地域に発信する機会をつくっている。	35	41	3	0	24				

【自由記述より】

○寄宿舎教育について

- ・親元から離れた環境の中で自立出来ていて素晴らしい。
- ・基本的な生活習慣が身につくように、健康で体力がつくように、あたたかいご指導、見守りをしていただける、共同生活の中で人と関わり、多くの大切なことを学んでいるところ。
- ・自立できるように、自分のことは自分で目指して…。
- ・私は療育園ですが、頑張る力になると信じます。

○コミュニティ・スクールの推進について

- ・よくいろいろと考えてくださっていると思います。
- ・意図が伝わって地域の方と協力できたら良いと思います。
- ・福祉関係に興味がある方、学生さんなどのボランティア活動を計画する。文化祭の案内を地域の学校へ紹介する。

○その他

【12】進路担当の先生が日頃の子どものことと家庭環境など把握できていないために、実習先の提案がきちんとマッチングできていないと思うので、改善してほしいです。

→貴重なご意見をありがとうございます。本人・保護者の希望や実態把握などを含めて検討し、児童生徒一人一人に合った進路指導ができるよう、努めてまいります。

【15】とても自立できて、医療的ケアも充実している。排泄時、できたら使い捨てのビニルエプロンを使用していただけると、より安心できると思いました。

→貴重なご意見をありがとうございます。安心・安全な医療的ケアのために、物品等、随時検討してまいります。

【結果のまとめ】

今回のアンケートの回答では、個々に応じた教育活動及び情報発信に関する項目などについて、「A 十分あてはまる」「B あてはまる」の肯定的評価が90%をこえるなど、概ね高い評価をいただいております。

一方で、寄宿舎教育については、肯定的評価は80%台となっております。昨年度は60~70%であったところから比較すると大幅に増えておりますので、今後より一層、寄宿舎教育につきましてご理解をいただけますよう、努力してまいります。

また、コミュニティスクールにつきましても、肯定的評価が大幅に増えている中で、「学びの成果を地域に発信する機会を作っている」につきましては肯定的評価が76%と比較的評価が低く、「居住地校交流」や「地域への教育活動の発信」につきまして肯定的評価が増加していることを踏まえると、残念ながら評価を得ていないという課題が見えてまいりました。文化祭のアンケートなどでは、地域と連携した活動に評価をいただいておりますので、今後、コミュニティスクールについての周知や情報発信に努めてまいりたいと考えております。

個別の項目につきまして、「進路に関する情報提供」及び「福祉・医療サービスの情報提供」の項目でやや低く、ニーズの把握と情報発信について課題があるとらえ、今後、改善に努めてまいりたいと考えております。